

資料2

令和5年11月10日
ごみ処理施設等調査会
特別委員整備課
ごみ処理施設整備課

人口及びごみ量の 予測

1 人口推計①

- 令和3年度に策定した一般廃棄物処理施設整備基本構想において人口を推計した。
- その後、人口の実績と推計との間に乖離が生じていることから、改めて人口を推計したもの。（推計方法は変更なし）
- 推計した結果は下表のとおり、基本構想と比較して減少となった。

(単位：人)

項目	R3	R14	R17	R20
今回の推計①	(実績) 230,637	212,256	206,794	200,988
基本構想の推計②	232,275	218,640	214,430	210,010
比較 ①－②	△1,638	△6,385	△7,636	△9,022

2 人口推計②

- 人口の実績と基本構想における推計との間に乖離が生じた理由は、2015国調において米子市の人口が増加し、社人研の2020人口予測も増加となっており、これに影響されたことによる。

米子市の社人研・基本構想・今回の整備概要推計イメージ
(単位：人)



3 ごみ量の推計手法

- 施設規模の算出のために、以下の手法によりごみ量の推計を行った。

- ①単純推計 ごみ排出量の実績に基づく推計
- ②目標推計 国の目標値を参考にごみ排出量を設定

国の目標値（循環基本計画、廃掃法基本方針）とごみ排出量の設定

【ごみ排出量】

H28.1	令和2年度において約890 g/人・日、平成24年度から約12%削減・・・	(H24~R2年1.5%減)	減少率半減
R5.6	令和7年度において約850 g/人・日、平成24年度から約16%削減・・・	(R2~R7年0.8%減)	減少率半減
設定	令和12年度において約830 g/人・日、平成24年度から約18%削減・・・	(R7~R12年0.4%減)	

【家庭ごみの排出量（資源ごみ等を除く）】

H28.1	令和2年度において約500 g/人・日	60 g 減
R5.6	令和7年度において約440 g/人・日	30 g 減
設定	令和12年度において約410 g/人・日	

4 可燃ごみ量の推計結果

基本構想策定時と比べて実績値が減少しており、また、R14からプラスチック類は資源ごみとして処理することを見込んでいるため、基本構想と比較し減少となった。

(単位：t / 年)

項目		R3	R14	R17	R20
今回の推計量①	単純推計	(実績) 61,285	55,687	54,775	53,808
	目標推計	(実績) 61,285	49,710	48,944	48,135
基本構想での推計量②	単純推計	63,043	60,084	59,282	58,457
	目標推計	62,099	55,378	53,561	51,729
比較①－②	単純推計	△1,758	△4,397	△4,507	△4,649
	目標推計	△814	△5,668	△4,617	△3,594

5 不燃ごみ・粗大ごみ量の推計結果

基本構想策定時と比べ実績値が増加しており、R14から製品プラは資源ごみとして処理することを見込んで、基本構想と比較し単純推計においては増加となった。
 その一方で、目標推計においては目標値の設定や人口減少により減少する。

(単位：t/年)

項目	R3	R14	R17	R20
今回の推計量①	単純推計	3,804	3,757	3,694
	目標推計	(実績) 4,146	3,351	3,258
基本構想での推計量②	単純推計	3,808	3,468	3,389
	目標推計	3,808	3,468	3,389
比較①-②	単純推計	338	289	305
	目標推計	338	△117	△131

6 資源系ごみ・有害ごみ量の推計結果

資源系ごみと有害ごみについては、国の目標値において具体的な数値が示されていないため、単純推計のみとした。

ただし、R14以降のプラスチック類については、現状のごみ量（軟プラ、トレイなど）に加え、分別収集（容リプラ及び製品プラ）により可燃ごみと不燃ごみから一定の割合でプラスチック類に移行するものと考えられることから、可燃ごみ・不燃ごみと同様に単純推計と目標推計を行った。

○資源系ごみ（缶・ビン、ペットボトル、プラスチック）（単位：t / 年）

項目	R3	R14	R17	R20
缶・ビン	(実績) 1,679	1,295	1,238	1,179
ペットボトル	(実績) 459	356	338	322
プラスチック類	単純推計	(実績) 353	2,799	2,723
	目標推計	(実績) 353	2,370	2,302

○有害ごみ（単位：t / 年）

項目	R3	R14	R17	R20
今回の推計量①	(実績) 80	78	74	72
基本構想での推計量②	98	93	89	88
比較①-②	△18	△15	△15	△16